

〇〇〇出版あれこれ〇〇〇

@Fukushima

私たちの望むものは

高田昌幸編

■

@Fukushima  
私たちの望むものは

生活/変じた  
人々の思い/丁寧

怒り、悲しみ、迷い、諦めた人々の思いを、丁寧に  
め、希望……。福島第一原発 聞き取った「@Fukushima」  
事故による、放射能汚染 shima 私たちの望  
で生活が一変してしまっ むものは「高田昌幸編」

■写真IIが刊行された。

手塩にかけ育てた牛を

屠畜(とちく)に出した酪

農家は「放射線テータ隠

しは国だけではなかつ

た」と村の対応を批判、子

ども2人と自主避難した

母親は「周りから裏切り

者と言われた人もいる」と

と話す。「原発交付金を

もらってきた町の住民に

避難する権利があるのか

—という声が県内でもあ

る」という話は切ない。

県主導の「1000ベシー

ベルト安全キャンペーン

」のすさまじさには驚

かされる。映画「フラガール

」の舞台となった温泉

街の旅館は、事故収束の

作業員の宿舎となった。

「原発で町は貧しさを

脱することができた」と

話す元町長、「ああいう光

景を見ずに死にたかつ

た」という反原発活動家、

「客観報道」でなく住民の

不安を丁寧につづる地域

紙の編集長。紋切り型の

マスコミ報道では、こぼ

れ落ちてしまふ「福島の

思い」が詰まっている。産

学社刊・1785円。